

ドローン資格講習追加

本年度 目標寄付額は1億円

美濃市がふるさと納税返礼品拡充

7月にふるさと納税の返礼品に追加されたドローンの民間資格取得コース＝美濃市曾代、ドローンミュージアム&パークの



美濃市は本年度、ふるさと納税の返礼品の充実を図っている。7月にはドローンの民間資格取得の講習を新たに追加し、品目は今年3月の165点から8月中には200点を超える。担当者は「少しでも注目されるよう工夫していきたい」と話す。(佐名妙予)

市への2021年度の寄付額は3707万円、22年度も4797万円にとどまり、他市町と比較し低調。返礼品を充実させる本年度は1億円を目標に掲げる。市によると、今年4～6月の寄付額は645万円。昨年同期の97万円に比べて伸びており、寄付が急増する年末に向けて、さらに品目の充実やサイトの魅力アップを図る。

市の返礼品で最も人気が高

いのがトイレットペーパー。本年度は7月末時点で寄付件数で全体の7割を占め突出している。担当者は「物価高騰の影響で生活必需品の需要が高いのでは」とみる。ただ、市内では今年、クラフトコラーやクラフトビールの商品化といった動きや、高い技術力を誇る製造業も多いことから、

市の幅広い事業者や製品の魅力を返礼品を通じて発信したい考え。本年度は市内の事業所を回り、60社以上の協力を取り付け、中には複数品を出品する事業者もいるという。7月に追加されたドローンの民間講習も市ならではの返礼品。同市に支社を置くドローン事業者「ROBOZ」の事業で、

広い屋外飛行場での訓練のほか登録申請代行などのアフターフォローも付く。寄付額は37万円と高額だが、他自治体との差別化を図る。

担当者は「ターゲットやニーズをさらに分析し、魅力の掘り起こし、事業者への利益還元につなげたい」と意気込む。